

1 修学旅行の意義と目的



(1) 意義

- ①学校での教科学習で得た知識を、実地の見学等により具体化し発展させる。
- ②集団生活を通し級友や教師との心のふれあいを深め、社会生活のルール、責任感、協調性を培う。

(2) 目的

- ①本県にない自然や他府県の人々の生活や歴史・文化にふれ、見聞を広める。
- ②長野でのスキー教室を通して、ウインタースポーツの醍醐味を味わう。
- ③我が国の政治・経済、科学技術、スポーツ、芸術文化の中心地である東京を見学し、将来の進路設計への展望を開く契機にする。
- ④班別行動による自主研修で、創造的・主体的な学習態度を養う。
- ⑤生涯の心に残る良き思い出をつくり、高校生活を豊かなものにする。

2 修学旅行の心得



(1) 一般的な心得

①修学旅行の心得の三本柱

安全第一、思いやりの心、他人に迷惑をかけない心がけ

- ②常に首里高校生としての自覚と誇りを持ち、マナーを守り、責任ある行動をする。「旅の恥はかき捨て」というような横暴な態度は慎む。
- ③諸規則を守り、引率教師、旅行委員や班長、添乗員等の注意をよく守り、秩序ある行動をする。万一、違反した場合には、即時離団(保護者への引き渡し)を命ずることがある。(その費用は保護者負担とする)
- ④いかなる場合も、絶対に個人行動はしない。(私的な旅行ではなく、あくまでも修学旅行である)
- ⑤体の不調や、その他困ったことが起きた場合は、躊躇したり遠慮せずに引率教諭に相談する。
- ⑥危険物の所持・携帯や危険な行動を禁止する。又、遊具・ゲーム等は厳禁とする。(見つけ次第没収)
- ⑦ホテル・公共施設・電車内で迷惑行為はしない。(ホームで走ったり、押したり絶対しない。危険である。)
- ⑧集合時間や食事などの時間を厳守する。
- ⑨十分な睡眠と食事を取ることによって、健康状態をベストに保ち、快適な旅にする。
(例年、疲れと睡眠不足で発熱する生徒がいる。)
- ⑩その日の感想や自己評価、健康状態を「修学旅行のしおり」にその日のうちに記入する。
(修学旅行のしおりは、その日で各班の班長が回収し引率教諭に提出する。)
- ⑪翌日の日程を確認し「修学旅行のしおり」に時間を記入する。
- ⑫自分勝手な離団は許可しない。
- ⑬運転手・バスガイドの方に失礼のないように留意し、気持ちよく運転・ガイドをしてもらえるよう心がける。
- ⑭あいさつや感謝の言葉を心がける。
- ⑮携帯電話は、校内の使用規定に準ずる。空港内・航空機内・ホテル(部屋以外)・食事中・バスでの移動中など、全体で活動しているときは電源を切り、使用しないこと。通話については「緊急時のみ」使用可とする。カメラ機能については、ディズニーリゾート内、東京自主研修中及び上野恩賜公園での見学中のみ使用を認める(自撮り棒の持ち込みは禁止)。ただし、行程に支障をきたさないこと、マナーを守ることを前提とし、それができない場合はその時点で全面禁止とする。

(2)服装と携帯品

- ①服装は、高校生らしい身なりにする。(基本は制服とするが、スキー場、ディズニーシー、自主研修は私服可)
- ②衣服や携行品は必要最小限にする。
- ③所持品には必ず記名する。(バッグ、カメラ、靴など)
- ④自分の持ち物は自分で責任を持って管理する。特に貴重品には気を配る。(置き引きやスリに注意し、その場を離れるときは、友人に頼む)

⑤標準的な持ち物

「修学旅行のしおり」、健康保険証、身分証明証、ビニール袋(洗濯物入れ)、着替え、
(スキー用:ジャージ・長袖・タオル・予備の靴下)、寝巻、洗面用具、歯ブラシ、マスク、ハンカチ、
ポケットティッシュ、腕時計、筆記用具、常備薬、サブバック、防寒具、マフラー、手袋、(カメラ)、
ドライヤー(各班1台)*カール機能付不可

靴は溝のしっかりしたシューズ

*ホテルで準備されているもの(タオル、バスタオル、シャンプー、石鹸、歯ブラシ)

- ⑥雨具はすぐに取り出せるところに入れ、常時携帯する。(携帯用のレインコートを配付予定)
- ⑦小遣いは3万円以内にとどめる。(必要最低限に留め、高額なお金を所持しない)
(個人的な費用としては、ディズニーランド内と自主研修での昼食代・飲み物代・電車賃・おみやげ品代などが必要)

(3)ホテル

- ①ホテルについたら、勝手に外出してはならない。(原則外出不可)やむを得ず外出しなければならないときは、必ず引率教師の許可を得る。
- ②割り当てられた部屋は守り、勝手に変更しない。(引率教師が巡回点検する)
- ③ホテルにはいったら、はじめに必ず非常口と避難経路を確認する。
- ④万一、非常事態が発生した場合には、努めて冷静さを保ち、引率教師、添乗員、ホテル従業員の指示に従って行動する。
- ⑤ホテル・部屋での火の使用は厳禁。また、電気製品(ドライヤー等)の取り扱いには注意する。
- ⑥ホテルの設備・備品、飾り物、寝具等は大切に扱う。
(破損したり、盗ったりした場合は、その個人に弁償させる)
- ⑦貴重品は、各部屋の金庫に保管するか、フロントに預ける。
- ⑧電話を使用する際は、午後10時までに済ませる。 ※部屋に備え付けの電話は、使用禁止!
- ⑨食事時間を守る(食事の始めと終わりのあいさつを忘れずに!)
- ⑩スリッパ、パジャマで部屋の外に出ない。(一般のお客様もいます。常識です。)
- ⑪部屋、食堂、集会所では、靴を履き散らかさずにきちんとそろえておく。
- ⑫朝食前に、荷物の整理や着替えを済ませる。
- ⑬整理整頓を心がけ、移動の前の晩には荷造りを済ませ、当日の朝になって慌てないようにする。部屋を退出するときは、忘れ物がないか細かに点検する。→小さいものでも料金着払いで送り返されます。(部屋の中の冷蔵庫、洗面台、バスから降車する場合も同様に点検する。)
- ⑭親戚、知人との面会は引率教師に申し出て許可を得、ホテルのロビーで午後9時までに済ませる。
- ⑮洗濯はできるだけ控える。
- ⑯入浴は、他の客の迷惑にならないように、予定時間内に済ませ、騒がないようにする。

- ⑰他のお客に迷惑をかけない。(ドアの開けっ放しは厳禁！)ドアの開閉は静かに行い、廊下、ロビーなどで騒がない
- ⑱早寝早起きを心がける。(体調のすぐれない仲間への気配りを忘れずに！)
- ⑲無駄な消費はしない。(バイキング料理の取りすぎ、アメニティの無駄使いなど)
- ⑳消灯時間(22:30)を厳守し、翌日に備えて静かに就寝すること。

(4)見 学

- ①前日に翌日の見学箇所を再度予備学習し、見学のポイントを明確にしておく。
- ②よく見て、よく聞き、よく考える。
- ③メモを取り、「修学旅行のしおり」(旅行日誌・感想)に記録する。
- ④撮影禁止、接触禁止の所ではその規則を守る。
- ⑤集合時刻を厳守する。自分勝手な行動は、みんなの時間を無駄にし、次の日程を遅らせる。常に時間を確認する。

(5)ディズニー・シーでの班別行動

- ①出発前日の晩に、班員全員で、アトラクション、目的地などを再確認しておく。
- ②雨具を携帯する。(帰りは暗くなっているので、ホテルへの帰路を確認しておくこと)
- ③必ず班単位で行動する。班を離れての勝手な行動は厳禁。
ただし、複数の班が一緒に行動するのはよい。(班の合流はよいが、分割はダメ！)
- ④服装は原則制服とするが、防寒対策も含めて私服も許可する。(ただし華美になりすぎないこと)
- ⑤見知らぬ人の誘いにのらない。
- ⑥困ったことが起きたら、引率教師や添乗員と連絡を取る。
(特に、班長は引率教諭と緊急時連絡用に携帯電話を準備しておく。)
- ⑦ホテルからディズニーランド・シーまでの移動時間を考慮して行動する。
遅くとも 21 時にはリゾートラインにてホテルへ移動すること
- ⑧門限(ホテル 21:30)を厳守し、班員は必ず全員一緒に帰り、引率教師の確認を受ける。

(6)自主研修

- ①出発前日の晩に計画書をもとに、班員全員で道順、目的地などを再確認しておく。
- ②部屋を整理整頓し、班毎に引率教師のチェックを受けてから、ホテルを出る。
- ③生徒手帳、雨具などを携帯する。(必ず、ホテル周辺の地図をもつこと)
- ④必ず班単位で行動する。班を離れての勝手な行動は厳禁。
ただし、複数の班が一緒に行動するのはよい。(班の合流はよいが、分割はダメ！)
- ⑤自主研修の際も、高校生らしい服装を心がける。
- ⑥見知らぬ人の誘いにのらない。(大都会には、おのぼりさん〈観光客〉を狙っている者がいる)
- ⑦困ったことが起きたら、引率教師や添乗員と連絡を取る。
(特に、班長は引率教諭と緊急時連絡用に携帯電話を準備しておく。)
- ⑧現在地から目的地、ホテルまでの乗車時間や乗り継ぎ時間なども考慮して行動する。
- ⑨門限(ホテル 17:00)を厳守し、班員は必ず全員一緒に帰り、引率教師の確認を受ける。

3 係と仕事内容

◎集合時の「点呼報告」は、次の順序で行う。

班長 → 修学旅行委員 → 引率教師 → 団長

修学旅行委員（各クラス2名）

- ①修学旅行の計画・準備に携わる。
- ②クラスの参加生徒全員の掌握につとめ、引率教師や総務との連絡を密にする。
- ③旅行中の旅行委員会（ミーティング）に出席する。
- ④集合時には、速やかに班長に人数確認をさせ、引率教師に報告する。



レク委員（各クラス2名）

- ①修学旅行委員や引率教師と連絡を取りあい、レクを企画運営する。
- ②全体レクを企画・準備・実施する。
- ③クラスレクを企画・準備・実施する。

班 長（各班1名）

- ①班をまとめ、リーダーシップを取る。
- ②班員の旅行日誌をまとめ引率教師に提出し、1日の反省と翌日の打ち合わせを行う。
- ③引率教師や修学旅行委員と連絡を密にする。また、旅行中の旅行委員会（ミーティング）に出席し、連絡事項を全ての班員に周知徹底させる。
- ④集合時や見学後バスに戻ったら、すぐに班員の点呼を行い、修学旅行委員に報告する。
- ⑤ホテルに着いたらすぐに、非常口・避難経路の確認をする。
- ⑥起床時と午後 10 時には人員点呼を行い、異常は直ちに引率教師に報告する。



生 活（各班1名以上）

- ①ホテル、乗り物などで忘れ物がないか細かに点検する。
（特に、戸棚、洗面所、浴室、乗り物の上棚など）
- ②ホテルで部屋の鍵を管理、返却する。



保 健（各班1名以上）

- ①班員の健康状態に留意し、引率教師や看護師との連絡を密にする。
- ②ホテルでの入浴時間を班員に知らせ、時間を守らせる。
- ③率先して部屋の整理整頓や早寝早起きを行い、健康維持に努める。

